

令和3年6月17日定例教授会議事抄録

出席者

高橋所長

青山、秋葉、池本、板倉、大木、黒田、小寺、佐藤、菅、園田、高見澤、塚本、中島、名和、馬場、古井、榎屋、松田、真鍋、森本の各教授

池亀、上原、額定其芳、小川、藏本、佐橋、鍾、田中、渡邊、柳、GERTEISの各准教授
海外渡航者

なし

休職者等

安富教授

議事に先立ち6月16日付け採用教員の紹介及び挨拶があった。

議事 5月20日開催の定例教授会の議事抄録を承認した。

通知事項

1. 教員等の公募について 2件【資料P5】
2. 各種研究助成等の募集について 1件【資料P6】

報告事項

3. 所長報告

高橋所長より報告があった。

- 1) 評価委員会（6月8日） 【資料P7～8】
- 2) 未来社会協創推進本部（6月8日） 【資料P9】
- 3) 科所長会議（6月8日） 【資料P10～23】
服部事務長より、東文研の夏季一斉休業について説明があった。
- 4) 名誉教授選考委員会（6月8日）
- 5) 教育研究評議会（6月15日） 【資料P24】
- 6) 教員の海外渡航（報告） なし
- 7) 委員、非常勤講師等の応嘱について 【資料P25～26】
- 8) 寄附金の受け入れについて 【資料P27】
- 9) 訪問研究員の受入期間変更について なし
- 10) 全学自由研究ゼミナールの担当教員について 【資料P28】
- 11) その他 【資料P29～42】

①令和4年度科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞候補者の推薦について

高橋所長より、人文科学分野も対象になった旨説明があった。

②総長対話の開催について

高橋所長より、7月27日（火）16時から17時30分まで、ZoomWebinarにて全教職員を対象に開催される旨報告があった。

4. 各委員会報告

1) インフラ委員会

高見澤委員長より

特になし

2) 財務委員会

特になし

3) 情報・広報委員会

特になし

4) 研究企画委員会

小寺委員長より、2021年度東文研紀要投稿文の採択が決定された旨報告があった。また、定例研究会について田中准教授着任研究会の参加申し込みに関する報告があった。

5) 図書委員会

森本委員長より、漢籍整理長期研修（前期）の終了報告があった。

6) 東洋学研究情報センター委員会

特になし

高橋所長より、各サーバーに関する対処について発言があった。

7) G J S 委員会

園田委員長より、80周年記念事業としてブックレットを作成する旨報告があった。また、GJSスタッフの人事について報告があった。

8) E A A 委員会

特になし

9) 情報セキュリティ委員会

特になし

10) 環境安全管理室

園田室長より、産業医の巡視及び部局長パトロールの実施について協力依頼があった。

11) アジア研究叢書刊行委員会【資料P43～47】

松田委員長より、東京大学基金特定基金（東大アジア研究叢書基金）について情報共有があった。

12) 80周年記念事業 WG

大木委員長より、80周年史の編纂及びホームカミングデイ特別公開講座の講演について報告があった。

13) その他

特になし

5. その他

服部事務長より、「年5日」の年次有給休暇の確実な取得に向けた取組、新型コロナウイルスワクチン接種希望調査及び令和3年度職域（時間）限定職員への転換制度の採用ポストの希望について説明及び依頼があった。

審議事項

6. 教員の海外渡航について なし

7. 訪問研究員の受け入れについて【資料P48～49】

受け入れ教員より説明があり承認された。

8. 共同研究者の申請について【資料P50】【回覧資料】

受け入れ教員より説明があり承認された。

9. 学内委員の委嘱について【資料P51】

高橋所長より説明があり承認された。

10. 所内委員会について【資料P52】

高橋所長より説明があり承認された。

11. 教員の兼務について

高橋所長より、青山教授（任期：R3.10.1～R4.3.31）の連携研究機構ヒューマニティーズセンター兼務について説明があり承認された。

12. 令和2年度決算について【資料P53～59】

古井財務委員長より説明があり承認された。

13. 令和3年度予算配分案について【資料P60～62】

古井財務委員長より説明があり承認された。

14. 教員人事について【資料P63】

選考委員会設置（新世代アジア研究部門准教授）

投票に先立ち園田教授より、選考委員会設置の趣旨説明があった。続いて、高橋所長より、選考委員会設置の提案があり承認された。なお、所長以外の選考委員のメンバーはオンライン投票で選出した。

15. その他

・受け入れ研究員等に対する防災に関する情報については、受け入れ教員である教授

会メンバーが周知することとなっている旨確認された。